

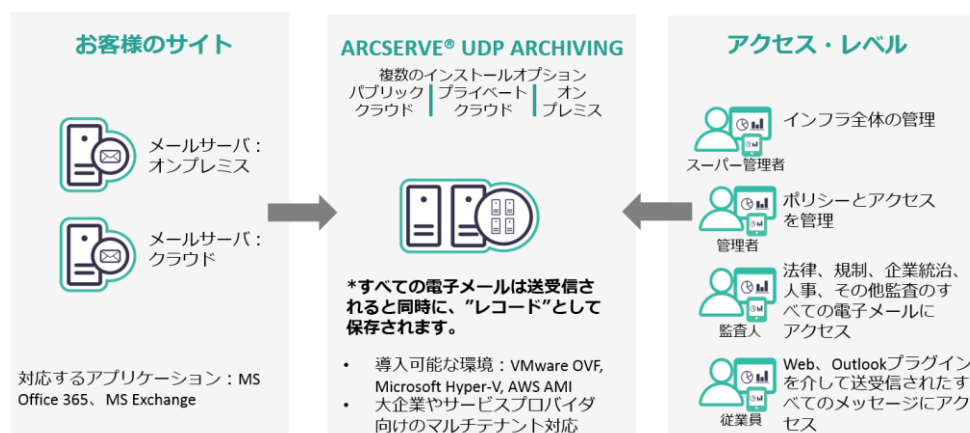
# Arcserve® UDP Archiving ソリューションの概要

## はじめに

電子メールはあらゆる企業にとって重要であり、利用者の生産性向上、コンプライアンス、証拠開示のために保存する必要があります。従来の電子メールアーカイブは一般的に、Microsoft Exchange や他の電子メールサーバの電子メールの負荷を軽減し、開示やコンプライアンスのために保存されていました。しかし、最近では、機器が耐用年数に近づいたり、ストレージ要件が変化していることで、従来の電子メールアーカイブに代わる新しい電子メールアーカイブソリューションが登場しました。Arcserve®UDP Archiving は、最新の電子メールアーカイブ要件に対応可能な電子メールアーカイブソリューションです。

- ・ 電子メールの検索、監査証跡、レポート、保持管理、セキュリティ強化のための役割ベースのアクセス制御などの高度な機能を提供するシンプルですぐに運用を開始できるソリューションです。
- ・ Office 365 のお客様は、Exchange のジャーナル電子メールを簡単に取得し、Office 365 以外の場所に格納することができます。
- ・ リモートまたは拠点、サービスプロバイダからの展開など、分散した企業であっても電子メールを最適にアーカイブ管理することができます。マルチテナント機能により、大企業は複数の部門や拠点を管理することができますので、複数のエンドユーザをサポートするサービスプロバイダの商材としても利用いただけます。

Arcserve UDP Archiving は、電子メールアーカイブのストレージを最適化し、企業の電子メールレコードを保持し、監査や証拠開示のために簡単にアクセスするための専用の電子メールアーカイブソリューションです。UDP Archiving は、主な電子メールプラットフォームをすべてサポートしており、電子メールサーバにはソフトウェアをインストールする必要がありません。SMTP メールサーバとして機能し、コンプライアンス遵守のために送受信されるすべての電子メールのコピーを受信するように設定されますが、PST ファイルからのアーカイブ電子メールを長期保存するために取り込むこともできます。UDP Archiving は、VMware、Hyper-V、または AWS AMI 上に仮想マシンとして展開されます。（図 1）



## 1. Arcserve UDP Archiving の概要



Microsoft Exchange、IBM Domino、またはその他の電子メールプラットフォームが稼動する企業の場合、UDP Archiving は、古い電子メールの保管にかかる負担を排除できますので、電子メールサーバの性能の向上を図ることができます。クラウドでの利用を計画している（または既に Microsoft®Office 365 や Google Gmail などのクラウドベースの電子メールプラットフォームに移行している）場合、UDP Archiving は、IT 管理者が送受信したすべての電子メールのコピーを保持しますので、電子メールは安全に保管され、自動的に管理されます。

Arcserve UDP Archiving は、プライベートクラウドとパブリッククラウドをサポートするマルチテナント対応ソリューションです。

## 特長と導入のメリット

- » すべての電子メールは、送受信時に収集され、完全なテキストインデックス付きで添付ファイルが検索可能になります。暗号化され、法規制へのコンプライアンス要件の保持など、定義された企業ポリシーで変更不可能なレコードとして保存されます。
- » UDP Archiving は、ストレージコストを上昇させ、電子メールサーバの性能に悪影響を与えるような、保管された古い電子メールを格納する負荷を取り除くことで、社内電子メールプラットフォームの性能を向上させます。
- » プログラム処理で送受信されるすべての電子メールのコピーを保持するための規制要件を満たします。
- » 複数の導入オプションを提供するため、パブリック、プライベートクラウド環境のどちらでも最大限の柔軟性を提供します。
- » 複数の部門または拠点を有する企業のニーズに対応する単一か、マルチテナント型アーキテクチャとして提供され、サービスプロバイダの商材としても最適な、個別のアクティビティ管理と課金が可能です。(図 2)
- » 機密情報の検索に従事する者は法的拘束の対象となり、結果として証拠の隠滅を防ぐことができます。
- » Microsoft Office 365 に移行した（または移行を計画中の）企業は、Office 365 に格納された電子メールの紛失や障害に備えて、UDP Archiving を導入してオンプレミスに電子メールのコピーを保持することができます。
- » 証拠開示や規制監査のために保管された電子メールのシンプルで高度な検索を可能にします。法務と IT のスタッフは、古いバックアップが保管されたテープや電子メールアーカイブの検索時間を節約できます。
- » 検索結果はタグ/仮想フォルダとメモで管理されます。すべての検索を簡単に取り出せるように保存し、サードパーティの分析ツールや本来の電子メールフォーマット、または PDF で見直すためにエクスポートできます。
- » UDP Archiving は、すべてのアクティビティの監査とログを使用してアーカイブされた電子メールを安全に管理します。監査レポートはコンプライアンス、規制やコーポレートガバナンスの要求を満たします。
- » すべてのアーカイブされた電子メールには、保持期間が満了し、電子メールが自動的に削除されるまで保持するルールが適用されます。
- » エンドユーザは、使い慣れた Outlook のクライアント内の保存メールに簡単にアクセスしたり、どこからでもアクセスできる Web インターフェイスを利用できます。

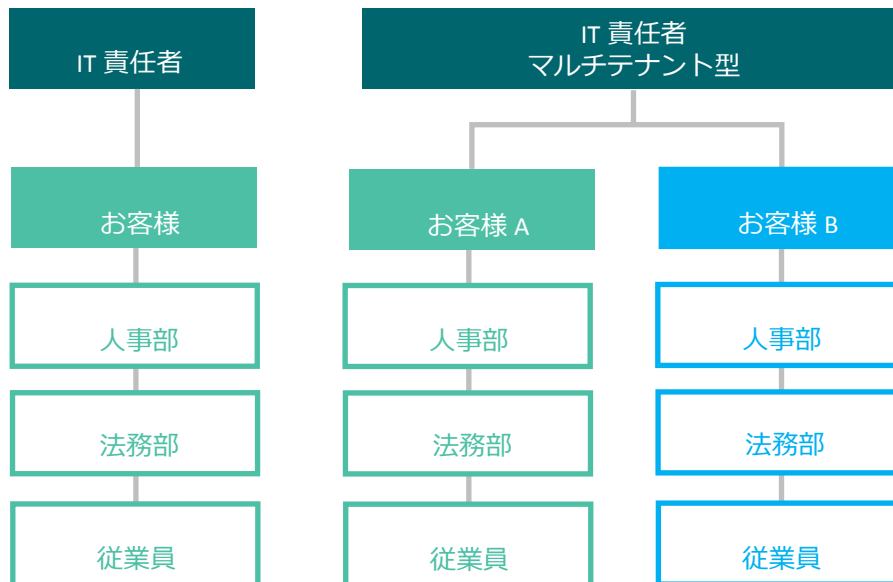


図 2. 単一 対 マルチテナント型 :

マルチテナント型では、大規模な企業の部門や拠点ごとに管理が可能です。

## 企業の義務とビジネスの促進要因

**コンプライアンス** - 法規制や業種固有の要件を満たすために、Arcserve Archiving は、送受信されたすべての電子メールを安全に取り込み、自動的に保管、破棄の管理を行うアーカイブに格納します。許可されたユーザはアーカイブにアクセスして証拠の開示や監査要求に対して電子メールを検索できます。

**レコードの管理** - UDP Archiving は、企業レコードとして「送受信した」すべての電子メールの取り込みと保存を行います。電子メールは、ユーザが決定した、オンプレミス、またはパブリッククラウドに置かれたアーカイブ用ストレージに安全に保管されます。アーカイブされたデータは常にユーザが所有し、ストレージ上で管理されます。Microsoft Office 365 などのクラウドベースの電子メールプラットフォームを利用する企業は、Office 365 へのアクセスが中断された場合に電子メールのコピーをオンプレミスに持つことも可能です。

**法的検索** - Arcserve Archiving は、認定されたユーザが電子メールを検索し、結果を証拠開示や、コンプライアンスの監査のためにエクスポートするための、シンプルで高度な検索機能を提供します。検索結果を瞬時に必要な場合、ユーザは高速検索と直感的な検索インターフェイスを利用できます。検索結果は、レビュー可能で、タグ付けされて、リーガルホールドに置かれますので、第三者による評価のためにエクスポートすることができます。



**ライフサイクル管理** - アーカイブに保存された電子メールレコードは、保存ポリシーごとに管理され、レコードがライフサイクル終了時に体系的に削除されます。すべての削除アクティビティがログに記録され、レポートは法的監査とコンプライアンス監査の証拠として実行できます。

**確実な電子メールの取り込み** - UDP Archiving は、すべての電子メールの取り込みと保持を変更不可能なレコードとして実行します。SMTP メールサーバとして機能し、Exchange ジャーナリングやその他の主な電子メールプラットフォームから電子メールを受信できます。以前に Exchange ジャーナリングを利用して Office 365 ユーザは、Exchange ジャーナルの電子メールをサードパーティのアーカイブに送信する必要がありますが、UDP Archiving は、Office 365 からのジャーナル電子メールを受信することができます。

**迅速な検索と取り出し** - システム管理者（および許可されたユーザ）は、法律、規制、人事などの要件で、迅速かつ正確なレコードのオンデマンド検索を実行できます。結果は、第三者のレビューのためにエクスポートすることが可能な結果とともに、表示、タグ付けし、リーガルホールドに置くことができます。

**従業員のアクセス** - Arcserve Archiving のテクノロジーは、使い慣れた Outlook クライアントの GUI を提供しますので、従業員は Outlook を使用しているときはいつでも、個人の電子メールに簡単にアクセスできます。結果は、UDP Archiving GUI から直接、表示、開封、電子メールの返信や転送が可能です。

**ストレージの最適化** - UDP Archiving は、重複排除と圧縮を使用して、アーカイブのストレージ領域を削減します。この方法は、メールサーバの性能を向上させながら、メールサーバの記憶域を削減することでコストを節約が可能です。

**データの取得** - Microsoft Exchange の場合、UDP Archiving は 2 つの方法でメールを取り込みます。まず、UDP Archiving は Exchange PST ファイルをアーカイブに取り込みます。次に、SMTP 経由で Exchange Server からジャーナル電子メールを受信するように構成します。これらのプロセスによって、企業は過去と将来の両方の電子メールレコードを作成することができます。

## 電子メールの検索 / 検出

Arcserve UDP Archiving は、電子メール検索とエンドユーザのアクセスを支援するための複数の方法を提供します。電子メール検索では、システム管理者（および許可されたユーザ）は、UDP Archiving の Web ベースの GUI からすべての電子メールデータの詳細レベルの検索、検索結果のデータをエクスポートすることで証拠開示の要件を満たします。基本の検索は、最もシンプルで高速、しかも「Google のような」簡単なインターフェイスを搭載しているため、システム管理者は検索のキーワードを入力するだけです。（図 3）検索結果が表示され、レビュー用にアイテムを開いたり、将来の使用のために保存することができます。保存された検索は、タグおよび注釈とともに、データの管理や分類に使用され、検索やケースの管理が容易になります。詳細検索は、「送信者：」「受信者：」「件名：」や日付範囲のフィールドなど、特定のパラメータでの検索を可能にします。（図 4）。検索結果は、裁判所の命令や規制監査に準拠するために保存され、外部の関係者にエクスポートすることができます。

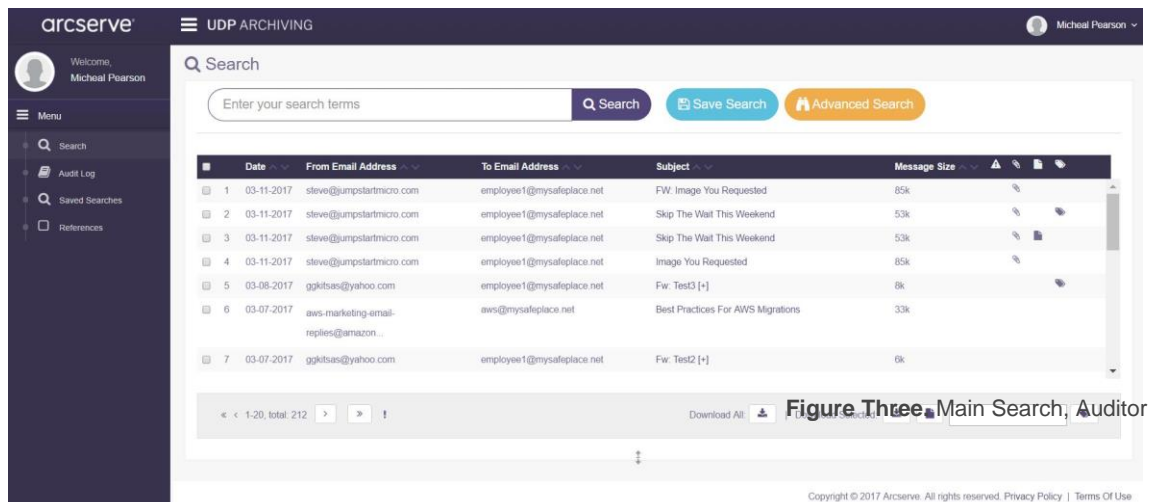


Figure Three Main Search, Auditor

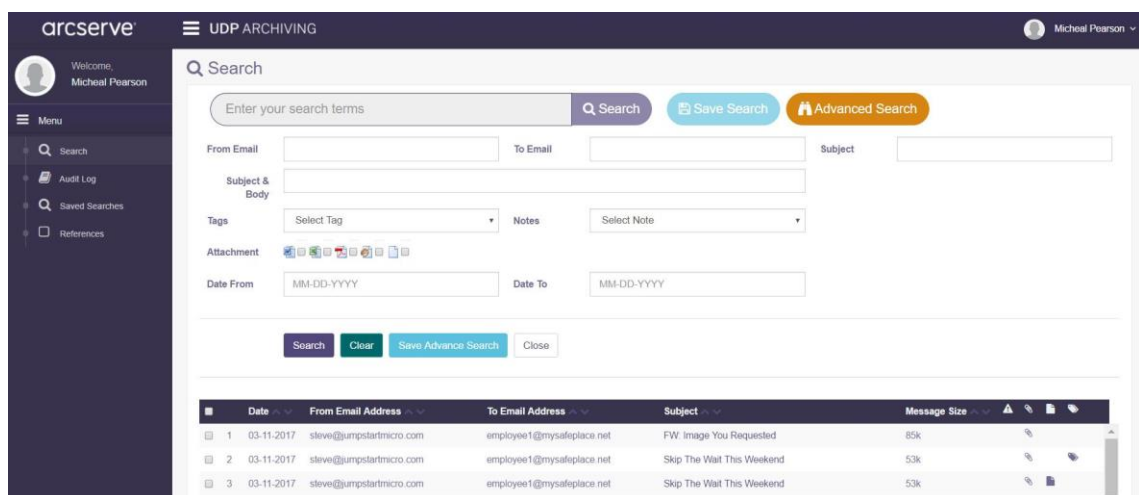


図 4. 監査人による高度な検索

## 従業員のアクセス

利便性を最大限に高めるため、ユーザは Outlook または Web ベースのログインを介して簡単にアーカイブにアクセスできます。Outlook では、アーカイブフォルダをクリックするだけでアーカイブメールにアクセスでき、基本検索機能や高度な検索機能を活用できます。（図 5）。システムにアクセスしている従業員は、グループ機能を使用して割り当てられたメッセージまたはメッセージのみを表示できます。



## ITのコスト削減と効率化

メールサーバの負荷を軽減したい企業は、UDP Archiving を利用することで、古いメールを安全に保管し、ユーザーに簡単なアクセスを提供できます。企業は、すべての過去と将来の電子メールをアーカイブすることで、メールボックスのサイズを削減し、メールサーバから古いメッセージを削除してコストを削減しながら、性能を向上させることができます。従業員が古いメッセージを必要とする場合は、アーカイブからすばやく取り出せるため、必要なメッセージを紛失、削除した場合でも IT 担当者に連絡する必要はありません。

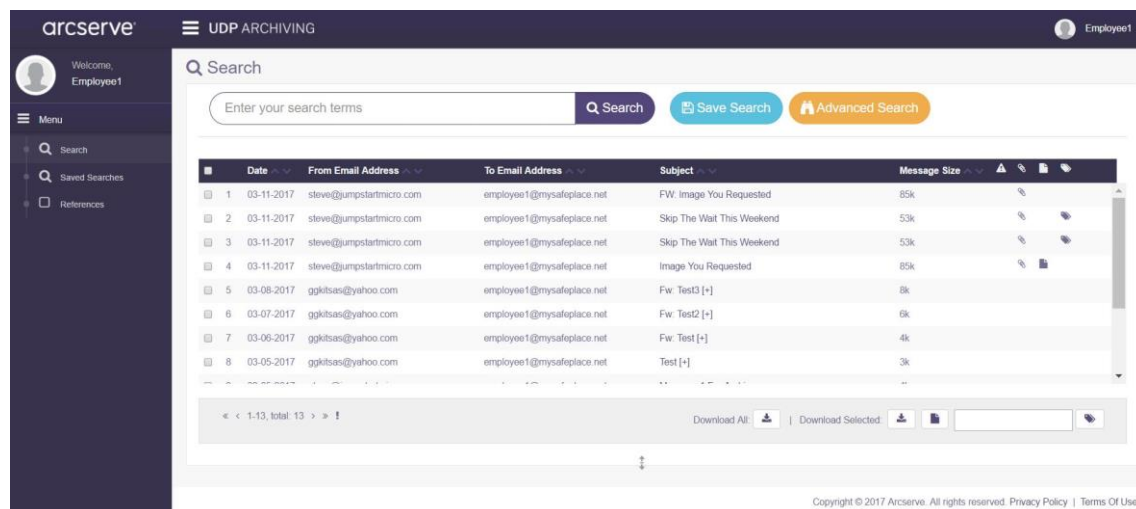


図 5. 従業員による検索

## 管理

UDP Archiving の Web ベースの GUI は、すべての管理コントロールにアクセスし、すべてのアクティビティのサマリを表示するステータス・ダッシュボードを持つホームページを搭載しています。（図 6）システム管理者は、一見するだけで、エンドユーザアクセス、グループポリシーなどを監視するためのレポートを使用して、取り込み処理とストレージの利用状況を監視できます。複数の画面でアーカイブを管理する UDP Archiving では、システム管理者は SMTP アドレスとサーバホストの IP アドレスを識別するだけです。（図 7）マルチテナントドメインは別の画面で管理されます。（図 8）。

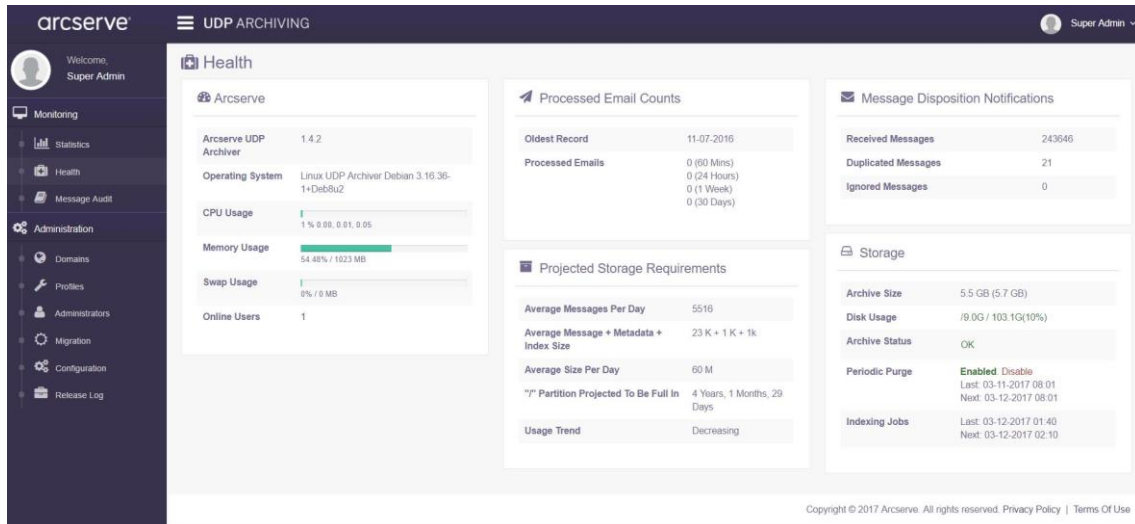


図 6. Arcserve UDP Archiving ステータス・ダッシュボード

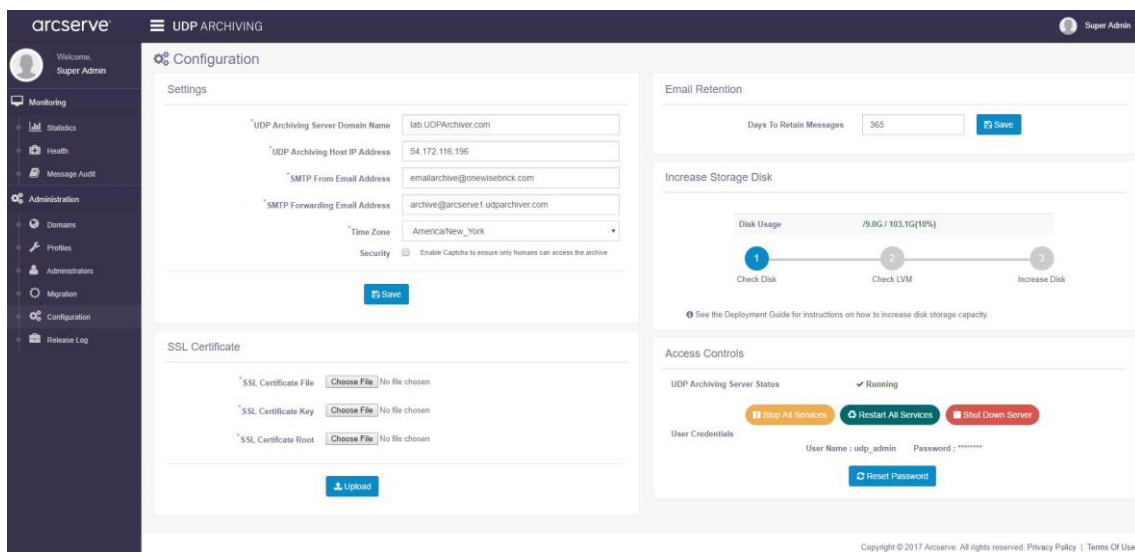


図 7. Arcserve UDP Archiving の設定画面

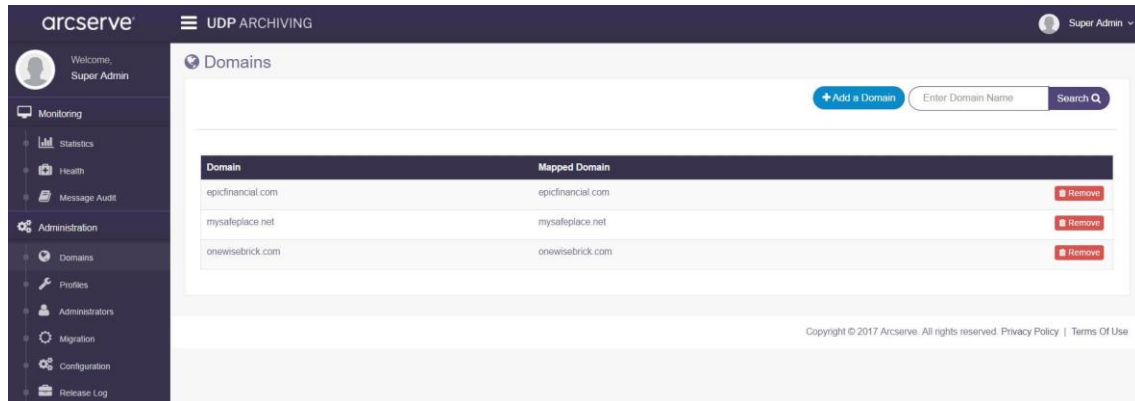


図 8. Arcserve UDP Archiving マルチテナントのドメイン設定

## セキュリティとコンプライアンス

Arcserve UDP Archiving は、アーカイブ内で実行されたアクティビティを追跡するための監査とログなど、セキュリティとコンプライアンスを支援する複数の機能を搭載しています。監査要求に応じて、システム管理者は、アーカイブにアクセスしたすべてのユーザ、アクセス時間、実行された正確なアクティビティのレポートを実行できます。（図 9）監査報告書とログレポートは、裁判所での係争や規制監査のためのセキュリティの証拠として提出することができます。

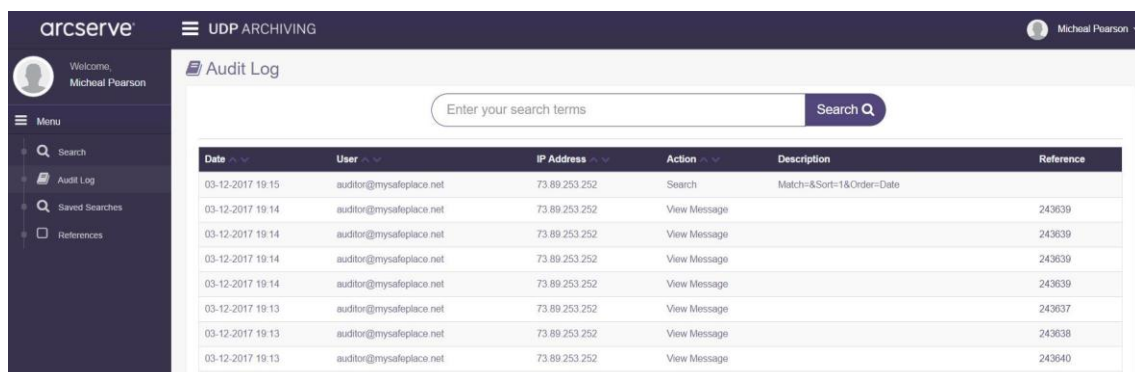


図 9. Arcserve UDP Archiving 監査とログレポート

Arcserve UDP Archiving は、さまざまなグループやユーザに対して構成できるルールごとにすべての電子メールをアーカイブすることで、全社的な保存と廃棄の運用を支援します。（図 10）図 10 は、特定の送信者または受信者、メッセージサイズ、添付ファイルまたはスパムに対して保持ルールを設定する方法を表しています。「保持する日数」機能では、電子メールを保存する日数がシステムに通知され、保持ルールが期限切れになると、電子メールデータは自動的に削除されます。全ての保存と廃棄は、その正当性を担保するために追跡されます。



図 10. Arcserve UDP Archiving 保持ルールの設定

## まとめ

IT の責任者は、予算削減やより小さい IT 部門が標準である時代に、より少ない予算でより多くのことを実施するよう、絶えず求められています。規模の大小にかかわらず、コンプライアンスとリスク軽減のためには、電子メールの保存と取り込みを最適化できる信頼性の高いソリューションが必要です。Arcserve UDP Archiving は、ユーザのドメイン内でシームレスに導入でき、マルチテナントと多言語サポートを必要とするグローバル企業や拠点が分散している企業に最適です。このソリューションは、Arcserve UDP に追加する拡張製品として販売され、IT の運用効率の向上とコスト削減を支援します。

本製品の詳細情報は、[arcserve.com/jp](http://arcserve.com/jp) をご覧ください。

Copyright © 2017 Arcserve (USA), LLC and its affiliates and subsidiaries. All rights reserved. 参照するすべての登録商標、商標名、ゴロ等はそれぞれの所有者に帰属します。本資料は、情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証（商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます（ただし、これに限定されません））も伴わずに、本資料を「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など（ただし、これに限定されません）、本資料に関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。